

新年にあたりまして



東北農政局 土地改良技術事務所  
所長 大平 正三

新年明けましておめでとうございます。今年一年の前進に向かうにあたりまして、昨年3月に発生した東日本大震災で被災された方々に改めてお見舞い申し上げたいと思います。

地震発生後、沿岸部一体では津波により農地や水路が浸水状態になったため、排水のため早速災害応急ポンプの貸し出しを行うことにより、水路や排水機場のガレキ処理への支援を行いました。また津波を被った排水機場の仮復旧に努め、9月末の段階で従前に比べ約70%の排水能力まで回復しました。また、海岸堤防の仮復旧も完了しました。今後も排水ポンプや排水路の仮復旧を通じて農業用施設の機能回復に努めていきたいと思ひます

さて、排水ポンプ、用水路や排水路などの農業水利のための施設を日頃から適切に維持管理し、機能を長続きさせるため、水利施設のストックマネジメントへの技術的支援を本格的に実施しておりま

す。施設は長年使用していきますと、徐々に機能が低下しますので、この課題に戦略的に対応していくため、具体的事例の把握と対策、機能を診断するための技術の向上や担当者の能力向上などが重要な課題となっております。さらに最近では、地域の取組として水利施設の保全運動が行われております。

水利施設を健全な形で未来に伝えて行くための技術的支援を本格化させ、このような取組を通じて、災害に強い技術を進化させていくつもりです。

今後とも、関係機関や地域で取り組んでおられる方々との情報の共有を通じて当事務所の活動を前進させたいと思いますので、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。